

内科治療で悪化防止も

滋賀医大循環器内科 中川義久教授に聞く

止まることの許されない臓器・
心臓の病気について、滋賀医大循環器内科の中川義久教授(59)に聞いた。
(辻井花歩)

Q 心臓病の中でも多い病気は。

A 心臓の血管が詰まる

心臓病

病院の 実力

*滋賀編153



「受診時には経過を整理して伝えるのが望ましい」と話す中川教授(滋賀医大で)

心筋梗塞、血液の逆流を防ぐ弁が傷む心臓弁膜症の二つが多く、合わせると過半数を占めます。

Q 滋賀医大病院で力を入れている分野や強みは。

A 心臓病の専門家を集めた「ハートチーム」によるチーム医療に力を入れています。循環器内科や心臓血管外科の医師に加え、麻酔科医、看護師、放射線技師、薬剤師など30人余りで構成し、病院としての総合力を発揮しています。

また、身体への負担が少ないカテーテル治療や、人工弁を使わずに傷んだ弁の形を手術で整える「弁形成

術」で高い実績を誇っています。いずれの手法も難易度は高く、どこの病院でも簡単にできるわけではありません。

Q 自覚症状は。

A 息切れと胸の痛みを感じる事が多く、よく「締めつけられるような痛み」と表現されます。急に発症して激的な痛みを感じる場合もあるので、異常を感じたら、ためらわず救急車を呼んでください。

徐々に症状が出てきた場合も、かかりつけの医療機関でよいので早めに受診しましょう。何をしたらとくに症状が出て、どのくらい続いたか、どのくらいの頻度かなどを整理して伝えれば、原因の7〜8割は見当がつき、スムーズに治療を進めることができます。

また、一度発症した方は再発する可能性もあるので、病と向き合い、うまく折り合いをつけていく気持

ちを持つことも大切です。
Q 日常生活で気を付けるべきことは。

A 塩分控えめの食生活と運動習慣を身につけることを心がけてください。喫煙は言うまでもなく体に悪く、近くにいたる家族にも悪影響を与えます。

Q 病院を選ぶポイントは。

A 手術件数の多さや、カテーテルを使って人工弁を入れる「経カテーテル的大動脈弁留置術」といった高度な手術が認められているかなどに注目してみましよう。

医学の進歩により、最近では内科的治療で病状の悪化を防ぐことができる場合も多くなっています。症状をよく聞いてくれる医師、心臓病の原因になるとされる高血圧や糖尿病、脂質異常症にしっかり対応し、生活習慣も指導してくれる医師が理想的だと思います。